

一般質問



嶋田
議員

松浦市優良雌牛保留事業の今後について

質 畜産の振興施策として第1弾に千頭増頭事業が、第2弾に優良雌牛保留事業が実施されたが、事業の概略と結果について伺う。

答 優良雌牛保留事業は、和牛繁殖農家が県外の優良な種雄牛の産子を保留する事業です。松浦市優良雌牛推進協議会が2年前に設立され、市は、協議会が購入する精液代に補助金交付の支援を行っています。9月2日現在で170頭の保留対象雌牛が生まれており、千頭増頭事業とともに一定の成果を上げていると認識しております。

質 協議会が設置されて今年度が最終年度になる。今後の事業についても改良組合長との協議を重ね第3期を図る必要があると思うが考えを伺う。

答 第3期事業として、母牛の導入に関する支援、あるいは作業軽減化を図るための支援などを考えており、具体的対策は農家の方々の意見をお聞きしながら検討したいと思います。
質 農家の高齢化、多頭飼育化に伴

い機械化事業の導入が必要だと思われるが考えを伺う。

答 農家の規模拡大やコスト縮減には非常に効果的ですが、他の農作業についても同様の対策が求められることから、均衡を考慮し検討してまいります。

松浦市内各地にある戦没者慰霊塔周辺の整備について

質 市内には何か所の戦没者慰霊塔があるのか。土地の所有者はだれなのか。これまでの維持管理はだれが行っているか。

答 市内に9か所あり、市の所有が6か所、神社所有が3か所です。維持管理は、主に奉賛会と遺族会が合同で行われています。

質 来年は戦後70年を迎える。遺族の方々も高齢化しており慰霊塔周辺の草刈り作業も難しい状況になっていると思う。今後、慰霊塔周辺の維持管理について考えを伺う。

答 奉賛会、遺族会とともに市も維持管理の対応をしてまいります。

その他西九州自動車道開通後の町づくりについて、市内への企業立地の現状と今後について、市道中ノ瀬線の改良について質問しました。

一般質問



武辺
議員

フッ化物洗口推進事業について

質 虫歯の予防は個人の問題であり教育現場へ持ち込むべきものではないと考えます。県議会において「説明会等では、フッ化物洗口事業推進の立場に偏ることなく、洗口に係る問題点、留意点を明示し、賛否両論者の意見が開陳されるよう開かれた説明会とすること」という附帯決議がなされています。推進ありきで希望しないと考える人にその判断をしづらくなるような説明会ではありませんでしたか。フッ化物洗口には賛否両論あり、安全性を疑問視する声や有効性について科学的評価が少ないといった意見もあります。さらに、日本の子どもの虫歯は年々減少傾向にあるといった事実もあります。これらを踏まえて安全性、有効性、必要性についての見解を述べて下さい。

答 長崎県は平成22年6月に歯・口腔の健康づくり推進条例を施行し、市町においても歯・口腔の健康づくりに関する施策を継続的かつ効果的に推進するよう努めることやフッ化物洗口事業の普及が規定されており、使用する溶液は劇薬ではなく、

正しく使用すれば安全性に問題ないと認識しており、合併前の福島町では、フッ化物洗口で児童の虫歯が減少した実績もあります。このことから有効であると認識しており、本市も推進することといたしております。

「ココロねっこ運動」の現状と課題について

質 命の教育の実践例を幾つか挙げてください。

答 道徳教育のほか、小学校低学年では生活科で動植物を大切にするという内容に触れ、中高学年や中学校の理科では生命の尊重を学びます。全校集会においても生命尊重を目的とした教育を実施しております。

質 幼保小中連携してそれぞれの現場の問題や課題を共有できればと思いますが、見解をお聞かせください。

答 保育園から高校まで、松浦市一体となつて情報の交換と指導ができれば問題解決へつなぐと考えます。

質 命の教育について、今後本市の子ども達をどう育てていけばいいのか、教育長の考えをお聞かせください。

答 家庭、地域、関係機関と連携を図り、愛に囲まれた環境の中で、自分も他人も愛せる自立した児童生徒を育成することが命の教育につながると考えております。